

第75回“社会を明るくする運動”

高校生標語表彰式

受賞者の皆さん
おめでとうございます！

10月26日(日)、第75回“社会を明るくする運動”的一環として募集しました高校生標語の優秀作品表彰式が行われました。530名から応募があり、審査の結果、次の方々が入賞されました。おめでとうございます。



| | | |
|-----|---------------|-------------------------|
| 最優秀 | 小川 希姫 (麻生高校) | 「SNS 消えない言葉 残るきず」 |
| 優秀 | 奥川 鞠輔 (潮来高校) | 「リスペクト 相手におくる ほめことば」 |
| 優秀 | 藤田 慶也 (麻生高校) | 「多様性 一人一人が 主人公」 |
| 優良 | 齋藤 瑠夏 (潮来高校) | 「いじめはね “見て見ぬふり”も いじめだよ」 |
| 優良 | 河野 朱那 (潮来高校) | 「支え合い みんなで作る 幸せの輪」 |
| 優良 | 神野 結愛 (麻生高校) | 「悪いこと ちがうと言える その勇気」 |
| 優良 | 森 柚稀 (潮来高校) | 「あいさつで 広がる笑顔 地域の輪」 |
| 優良 | 小沢 瑠々奈 (玉造工高) | 「助け合い 誰かのために 差し出す手」 |

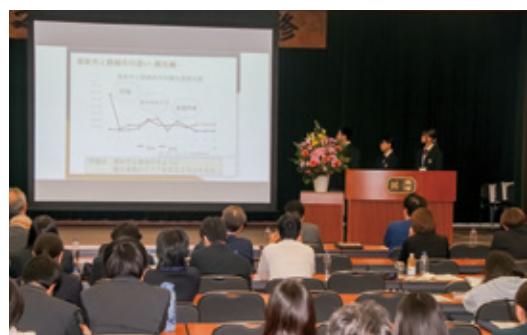
地域おこし協力隊通信 第78回

こんにちは、地域プロジェクトマネージャーの小林です。今回は潮来市高大連携事業に関する「麗澤大学地域連携シンポジウム2025」と「筑波大学高大連携シンポジウム2025」についてお話しします。潮来市高大連携事業とは、潮来高校生の感性と大学生の知識ノウハウを結集し、地域の課題解決に向けた提案をする事業で、少子高齢化や人口減少といった課題への対応を目的に、令和2年度から続く取り組みです。高校生と大学生は、調査・議論を重ね、地域の魅力発掘と活性化策を提案します。今年度は、5つの班が提案動画をYouTubeで配信し、オンライン投票の結果、1班と4班が大学のシンポジウムで発表しました。

麗澤大学では1班が発表。「はまぐりで繋がるまちづくり」をテーマに、潮来市と周辺地域が連携した特産品開発について斬新な提案をしました。筑波大学では4班が発表。「チャリ通は命がけ」をテーマに、潮来市から大きな成長を感じました。投票・応援いたしました。どちらの班も堂々とした発表で、7月の事業開始時から大きく成長を感じました。取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いします。



筑波大学で発表の様子(11月3日)



麗澤大学で発表の様子(11月2日)



動画配信中